

信頼の効果をこれからも

50周年バサグラン製品ガイド(水稻編)



バサグラン剤 上市50周年記念サイト 開設

水稻中後期除草剤として多くの農家の皆さまにご愛用いただいていた「バサグラン剤」が、今年で上市50周年を迎えました。これを記念し、特設サイトを公開中!

これまでの感謝の気持ちを含めた特別コンテンツをぜひお楽しみください。



□・BASF
We create chemistry

水稻用中後期除草剤
バサグラン[®]
粒剤 (ナトリウム塩) 液剤 (ナトリウム塩) エア-1キロ粒剤

おかげさまで50年 バサグラン製品ガイド(水稻編)

バサグラン剤はベンタゾンナトリウム塩を有効成分とする除草剤で、雑草発生後の処理で一年生雑草(イネ科を除く)、ホタルイ、クログワイ、ウリカワ、オモダカなど多年生雑草やSU剤・ALS阻害剤抵抗性雑草に優れた効果を示す中後期除草剤です。

日本では1975年に粒剤および水和剤が、水稻分野で上市されました。

また、ドローンの普及に伴い2023年に無人航空機による省力散布が可能なエア-1キロ粒剤が上市されました。

現在に至るまでの約50年間、バサグラン剤は日本において抵抗性を示す雑草種は認められておらず、適用拡大や新規製剤の上市を経て、その効果と安全性(薬害 人畜毒性 水産動植物に対する影響)から水田問題雑草防除の切り札として、高い評価をいただいております。

上市から50年を迎えるにあたり、改めて、最近の知見を含めて本剤の特長と使い方について認識を深めて頂くため、本ガイドを作成しました。

昨今の経営規模拡大に伴い水管理・雑草管理の農作業の負担が増加しています。一方、持続可能な農業へのニーズも高まっているところです。そんな中、直播栽培、特に『湛水状態にしない節水型乾田直播栽培』*にも注目が集まっており、中後期除草剤による雑草対策の必要性が高まっています。

問題雑草防除は、これからの新しい農業現場でも重要です。これからもそんな農業現場でバサグラン剤がお役に立てれば幸いです。

2025年3月

*水資源が限られる地域や労働力不足が深刻な地域において、有望な技術として注目されています。また、環境保全型農業やSDGsにも貢献する技術として期待されています。



バサグラン剤についての皆様のご感想・ご意見

新潟県
(46歳)

水管理がうまく行かずバサグラン剤にはお世話になりっぱなしです。

埼玉県
(41歳)

初期剤、中後期剤で取り残した草を防除したいのでバサグラン剤に一目をおいています。

福井県
(65歳)

近年ホタルイの発生が多く水稲除草剤での取りこぼしが多くバサグラン剤を使用しています。

青森県
(61歳)

中後期の最後の要として、バサグラン剤をブームにて使用している。

京都府
(62歳)

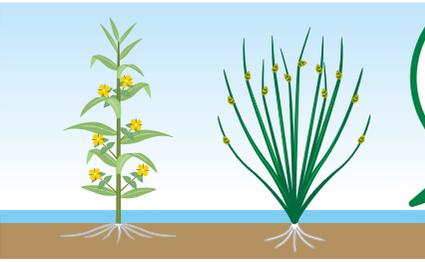
クログワイで困っている田んぼがありバサグラン剤の購入を考えていた。

千葉県
(61歳)

昨年はタウコギ、ヒレタゴボウ等多発したので、今年はバサグラン剤を使いたい。

そのお困りごと、バサグラン剤で解決できるかも

●問題雑草の発生



奈良県(33歳)

ヒレタゴボウに高い効き目があるとありがたい。

愛知県(67歳)

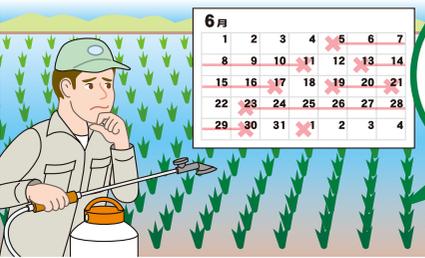
中干し後に発生するヒレタゴボウ等に使用する中後期の除草剤の散布時期が難しい。

新潟県(70歳)

ホタルイの駆除に難儀しています。近年、代掻きから田植頃の気温が上昇したためか、初中期剤では、越冬株からの発生が抑えられません。

バサグラン剤は生育が進んだヒレタゴボウ、ホタルイ等にも高い効果を発揮します。

●散布期間のお悩み



宮城県(49歳)

中後期剤の散布タイミングを逃してしまふ。

山形県(40歳)

中干し後の雑草繁茂。気温上昇が早く、雑草の成長が早いのが難しい。

バサグラン剤は処理適期幅が広く、雑草発生盛期～増殖期の処理でも安定した効果を示します。収穫45日前まで使用でき、使いやすくなっています。

※適用雑草等については各薬剤のラベルを参照してください。

●水管理が難しい水田



神奈川県(70歳)

漏水田なので水管理ができず除草剤が中々きかない。

香川県(89歳)

コンクリ畦が低いとすぐ地面が露出し雑草発生が抑えられない。こんなケースにピッタリの除草剤があればと願っています。

高知県(68歳)

水はけがよすぎる砂質田の雑草管理。

バサグラン剤は、ひたひた水(足跡水程度)の条件下で効果を発揮! 水持ちの悪い圃場でも、ぜひお試しください。

※減水深2cm/日以上の水田では使用しないでください。

※コメントは、バサグランエアリー1キロ粒剤のモニタリングキャンペーン(期間: 2024年5月1日~2024年6月30日)にてご応募いただいた内容です。掲載にあたり、応募者の許可を得ています。また、掲載する内容は一部抜粋・編集しています。

バサグラン®

粒剤 (ナトリウム塩)
液剤 (ナトリウム塩)
エア-1キロ粒剤

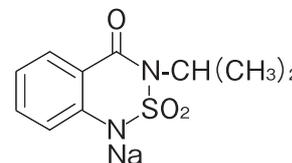
剤型	農林水産省登録	有効成分： ベンタゾンナトリウム塩
粒剤	第21229号	11.0%
液剤	第21254号	40.0%
エア-1キロ粒剤	第24395号	33.0%

物理的・化学的性状および安全性

●成分および性状

商品名	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	バサグラン・エア-1キロ粒剤
種類	ベンタゾン粒剤	ベンタゾン液剤	ベンタゾン粒剤
物理化学的性状	淡褐色細粒	赤色澄明水溶性液体	類白色細粒
除草剤分類	6		
含有量	11.0%	40.0%	33.0%
化学式	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキシド=ナトリウム塩		
分子式・分子量	分子式：C ₁₀ H ₁₁ NaNaO ₃ S 分子量：262.3		
蒸気圧	1.7×10 ⁻⁴ Pa(20℃)(ベンタゾン酸)		
水溶解度	570mg/ℓ(20℃)(ベンタゾン酸)		

●構造式



●安全性

○人畜毒性* *原体は普通物(毒劇物に該当しないもの)

商品名	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	バサグラン・エア-1キロ粒剤
急性経口	ラット：LD ₅₀ 4284mg/kg	ラット：LD ₅₀ 2063mg/kg	ラット：LD ₅₀ ♀>300、≦2000mg/kg
急性経皮	ラット：LD ₅₀ >2000mg/kg	ラット：LD ₅₀ >6050mg/kg	ラット：LD ₅₀ >2000mg/kg
急性吸入	ラット：LC ₅₀ (4h)>5.1mg/ℓ(原体)	マウス・ラット：LC ₅₀ (4h)>16mg/ℓ	ラット：LC ₅₀ (4h)>5.1mg/ℓ(原体)

○水産動植物に対する影響

商品名	バサグラン粒剤(ナトリウム塩)	バサグラン液剤(ナトリウム塩)	バサグラン・エア-1キロ粒剤
コイ	LC ₅₀ (96時間)>1000mg/ℓ	LC ₅₀ (96時間)>110mg/ℓ(原体)	LC ₅₀ (96時間)>100mg/ℓ
ミジンコ	EC ₅₀ (48時間)310mg/ℓ	EC ₅₀ (48時間)>100mg/ℓ(原体)	EC ₅₀ (48時間)>100mg/ℓ
緑藻	ErC ₅₀ (24-72時間)63mg/ℓ	ErC ₅₀ (0-72時間)>100mg/ℓ(原体)	ErC ₅₀ (0-72時間)83.4mg/ℓ

適用雑草および使用方法

バサグラン粒剤(ナトリウム塩)

※2025年1月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量	本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草(イネ科を除く)、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、オモダカ、クログワイ、エゾノサヤヌカグサ、シズイ	移植後15日～ 収穫45日前まで	3～4kg	1回	落水散布 又は ごく浅く 湛水して散布	2回以内
直播水稲	一年生雑草(イネ科を除く) マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ	稲3葉期～ 収穫45日前まで	3kg			

バサグラン液剤(ナトリウム塩) ※「移植水稲」「直播水稲」抜粋

※2025年1月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り使用量		本剤の使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む 農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
移植水稲	一年生雑草(イネ科を除く)、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、エゾノサヤヌカグサ、シズイ、クサネム	移植後15日～ 収穫45日前まで	500～ 700mℓ	70～ 100ℓ	2回以内	落水散布 又は ごく浅く 湛水して散布	2回以内
直播水稲	一年生雑草(イネ科を除く)、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、オモダカ、ミスガヤツリ、ヘラオモダカ、クログワイ	は種後35日～ 収穫45日前まで					

バサグラン・エア-1キロ粒剤

※2025年1月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	10a当り 使用量	本剤の 使用回数	使用方法	ベンタゾンを含む 農薬の総使用回数
移植水稲	一年生雑草(イネ科を除く) マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、クログワイ、オモダカ	移植後15日～ 収穫45日前まで	1kg	1回	落水又はごく浅く湛水して 無人航空機による散布	2回以内
直播水稲	一年生雑草(イネ科を除く)、マツバイ、ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ	稲3葉期～ 収穫45日前まで			落水散布又はごく浅く湛水して散布	

*バサグラン剤の取り扱いについては各農薬登録メーカーにご確認ください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●使用後の空袋・空容器は農場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

本資料は2025年1月の知見に基づいて作成されています。

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号 OVOL日本橋ビル3階
☎0120-014-660 <https://crop-protection.basf.co.jp/>

詳細やSDSはWEBで
ご覧いただけます。



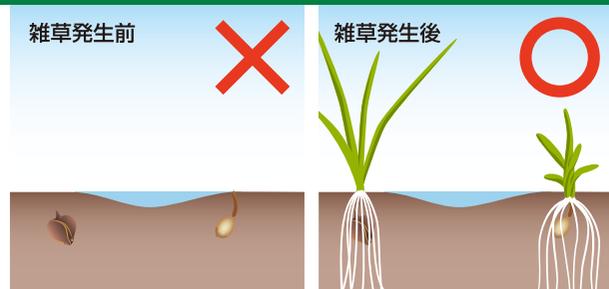
バサグラン剤の特長

◆問題雑草に優れた効果

- ・殺草スペクトラムが広く、一年生雑草(イネ科は除く)はもちろん、多年生雑草も防除します。
- ・ホタルイ、クログワイ、オモダカなどの「問題雑草」にも高い効果を発揮します。
- ・SU剤・ALS阻害剤に抵抗性を示すホタルイ、アゼナ、オモダカなどの草種にも有効です。

◆生育期の雑草に高い効果

- ・分げつ、分枝、分株を開始している生育期の雑草にも高い殺草効果を発揮します。
- ・雑草の発生程度を確かめてから適切なタイミングで使用できるため、無駄がありません。

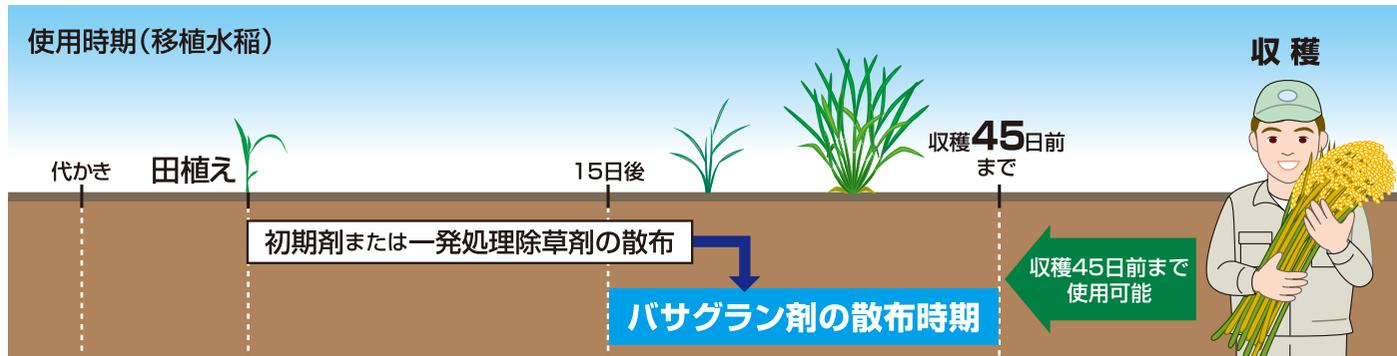


◆幅広い散布適期

- ・雑草発生盛期～増殖期でも安定した効果を示すため、雑草間で生育にばらつきがある状態でも処理できます。
※適用雑草・雑草ごとの防除可能な生育ステージは、各薬剤のラベルを参照下さい。
- ・移植水稻および直播水稻において収穫45日前まで使用できます。

◆体系処理で用いる

バサグラン剤はノビエに効果がないので、ノビエに有効な剤との体系で使用してください。
また、ノビエの発生しない圃場でも、適切な前処理剤を使用することで防除効果がより安定します。



◆稲WCSにも使用可能

- ・バサグラン剤は稲WCSマニュアル*にも掲載され、稲WCSにも使用できます。

* (社)日本草地畜産種子協会編「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」を指します。



◆スポット処理が可能

- ・雑草の発生が局所的な場合は、その部分だけを処理するスポット処理が可能です。なお、この場合も落水処理を行ってください。



◆作業性に優れたエア-1キロ粒剤

- ・バサグラン・エア-1キロ粒剤はドローン散布にも適した製剤です。
- ・ドローン散布の場合、10aあたり約1分で散布が可能で、省力性に優れます。



バサグラン剤の殺草スペクトラム

バサグラン剤は、ノビエなどのイネ科雑草を除き、カヤツリグサ科雑草や一年生広葉雑草、多年生雑草に高い効果を示します。また、SU剤・ALS阻害剤抵抗性のアゼナ、ホタルイなどにも有効です。なお、クログワイは発生期間が長く、バサグラン剤だけでは完全枯殺できない場合もあるため、クログワイに有効な初期剤や一発処理除草剤との体系で使用してください。

凡例 ○：顕著な効果 ○：有効 △：やや劣る ×：劣る

科名	雑草名	効果
アゼナ科	アゼトウガラシ	○
	アゼナ	○
オオバコ科	オオアブノメ	○
	ミズハコベ	○
ミノハギ科	キカシグサ	○
	ヒメミノハギ	○
ミソハコベ科	ミソハコベ	○
ミズアオイ科	コナギ	○
	ミズアオイ	○～○
キク科	アメリカセンダングサ	○
	タウコギ	○
	タカサブロウ	○
オモダカ科	オモダカ	○

科名	雑草名	効果
オモダカ科	ヘラオモダカ	○
	ウリカワ	○
	アギナシ	○
タデ科	ヤナギタデ	○
アカバナ科	チョウジタデ	○
	ヒレタゴボウ	○
ツユクサ科	イボクサ	○～△
セリ科	セリ	○～△
カヤツリグサ科	カヤツリグサ	○
	タマガヤツリ	○
	ヒデリコ	○
	ホタルイ	○
	マツバイ	○

科名	雑草名	効果
カヤツリグサ科	ミズガヤツリ	○
	クログワイ	○～○
	コウキヤガラ	○
	シズイ	○
ホシクサ科	ホシクサ	○
マメ科	クサネム	○～△
イネ科	タイヌビエ	×
	ケイヌビエ	×
	エゾノサヤヌカグサ*	○
ヒルムシロ科	ヒルムシロ	△
ホシミドロ科	アオミドロ	×
サトイモ科	アオウキクサ	○

*エゾノサヤヌカグサは多年生のイネ科雑草ですが、例外的に殺草効果を示します。

バサグラン剤の上手な使い方

◆ 散布時は落水処理

バサグラン剤の有効成分は水に良く溶け、かつ土壌吸着性が低いため、湛水状態では有効成分が水田水中に拡散し、雑草周辺の水中および土壌中の濃度が低くなり効果不足になります。落水状態(足跡に水が残っている程度で、雑草が水面上に出る状態)では有効成分の濃度は高い状態であり、効果は安定します。使用に当たっては、落水状態で処理してください。



① 晴天が続く時をねらって、
② 処理適期に落水し、水口と水尻をしっかりと止める。

③ 落水状態またはごく浅水状態(足跡水程度)で処理

④ そのままの状態でも中3～4日間完全止水。雨が降っても水口水尻は閉じたまま。

⑤ 処理後4～7日目は、ひび割れし過ぎない程度にさし水し、
⑥ 7日経ったら通常水管理に戻す。



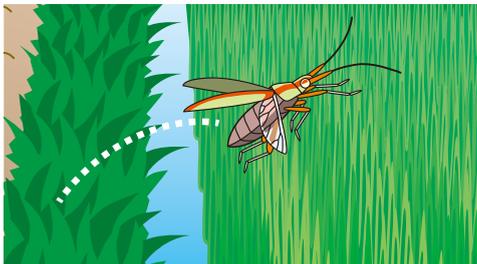
※水源池・飲料用水等に本剤が飛散・流入しないように注意。

バサグラン剤 耳より営農情報



斑点米カメムシ類対策は、水田内のイヌホタルイ防除から!

水稻の出穂前に出穂・結実するイヌホタルイの小穂は、アカスジカスミカメの雌成虫の栄養源や幼虫の発生源となり、斑点米の発生リスクが高まります。



イヌホタルイの小穂が誘引源となり、アカスジカスミカメが水稻の出穂前に周辺の雑草地から水田内に飛来します。



水田内に飛来したアカスジカスミカメはイヌホタルイの小穂に産卵、水田内で发育します。イヌホタルイの発生が多い水田では、アカスジカスミカメの発生密度が増加し、発生期間も長くなるため斑点米発生率が高くなります。

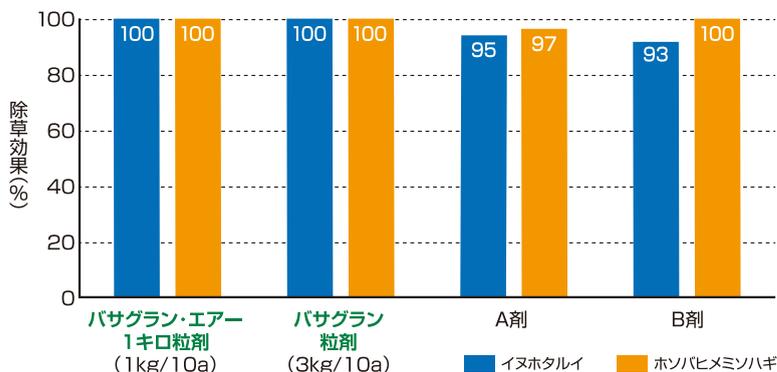
アカスジカスミカメによる斑点米被害を軽減するためには、小穂が結実する前のイヌホタルイを防除することが大切です。

●バサグラン粒剤、液剤によるイヌホタルイの防除例



第1世代成虫発生前までにイヌホタルイをバサグラン剤で除草して、水田内のアカスジカスミカメの増殖を抑制しましょう!

◆バサグラン・エアークロ粒剤・バサグラン粒剤のイヌホタルイなど各種雑草への効果試験



試験概要

試験場所: BASFジャパン株式会社
ASF成東 ピニールハウス内 2024年
試験土壌: 壇塚土
処理時葉齢: イヌホタルイ花茎長21cm(着蕾始期)、
ホンパヒメミノハギ草丈15cm
処理方法: 雑草種子のは種29日後にバサグラン剤は落水散布、
対照剤は温水散布
調査時期: 処理25日後



バサグラン・エアークロ粒剤



バサグラン粒剤



A剤



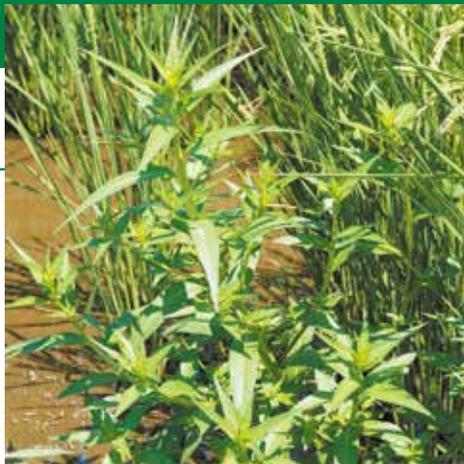
B剤



無処理

バサグラン剤は生育の進んだイヌホタルイ(着蕾始期)などに高い効果を示しました。

生育の進んだヒレタゴボウにも高い効果を示すバサグラン剤



ヒレタゴボウ (*Ludwigia decurrens*)

属 性：アカバナ科 チョウジタデ属

生活史：一年生(夏生)

生態

北米原産の帰化植物で、主に関東以西の水田、湿地に生育します。温水状態や乾燥状態では発生しませんが、中干しや落水期で田面が露出すると発生してきます。また、温水圃場であっても、浅水や、田面が高く露出した部分でも発生が見られます。

防除

ヒレタゴボウは多量の微小な種子を生産し、中干し時期頃から発生が始まるため、初期剤や一発処理剤だけでは防除がしきれないおそれがあります。そのため、中干し直後にバサグラン剤などの中後期剤を使った体系処理が有効です。

●バサグラン液剤、粒剤のヒレタゴボウへの効果

バサグラン液剤 試験区

500ml/10a処理		700ml/10a処理		無処理	
処理3日後	処理21日後	処理3日後	処理21日後	処理3日後	処理21日後

試験概要
 試験実施：BASFジャパン(株) 田原研究所
 処理日：2015年8月12日
 ヒレタゴボウ草丈：約35cm
 調査日：3日後(無処理の草丈：約40cm)、21日後(無処理の草丈：約65cm)

バサグラン粒剤 試験区

3.0kg/10a処理		4.0kg/10a処理		無処理	
処理3日後	処理21日後	処理3日後	処理21日後	処理3日後	処理21日後



バサグラン液剤、粒剤は、いずれの薬量においても生育の進んだヒレタゴボウ(草丈35cm以上)に対して高い活性を示しました。